

みずほCustomer Desk Report 2022/03/18号(As of 2022/03/17)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	118.99
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	118.88	1.1021	131.02	1.3142	0.7289
SYD-NY High	119.02	1.1137	131.86	1.3211	0.7392
SYD-NY Low	118.37	1.1009	130.73	1.3088	0.7283
NY 5:00 PM	118.61	1.1093	131.53	1.3145	0.7375
NY DOW	34,480.76	417.66	日本2年債	-0.0300	0.00bp
NASDAQ	13,614.78	178.23	日本10年債	0.2000	0.00bp
S&P	4,411.67	53.81	米国2年債	1.9138	▲3.24bp
日経平均	26,652.89	890.88	米国5年債	2.1407	▲4.53bp
TOPIX	1,899.01	45.76	米国10年債	2.1653	▲2.59bp
シカゴ日経先物	26,130.00	▲35.00	独10年債	0.3850	▲0.45bp
ロンドンFT	7,385.34	93.66	英10年債	1.5635	▲6.30bp
DAX	14,388.06	▲52.68	豪10年債	2.5110	3.20bp
ハンセン指数	21,501.23	1,413.73	USDJPY 1M Vol	6.74	▲0.29%
上海総合	3,215.04	44.33	USDJPY 3M Vol	6.95	▲0.23%
NY金	1,943.20	34.00	USDJPY 6M Vol	7.03	▲0.25%
WTI	102.98	7.94	USDJPY 1M 25RR	-0.50	Yen Call Over
CRB指数	290.734	10.16	EURJPY 3M Vol	9.31	▲0.41%
ドルインデックス	97.97	▲0.64	EURJPY 6M Vol	9.13	▲0.32%

東京	東京時間のドル円は118.88レベルでオープン。仲値にかけて上昇し、一時119.02をつけたが、勢いは続かずその後反落。めぼしい取引材料はなかったものの、約6年ぶりの円安水準に本邦勢の売り需要もあってかじり安となり、118.60まで下落。その後はやや値を戻し、118.78レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、118.78レベルでオープン。米FOMCやロシア情勢で欧州株はまちまち。ドル円はやや売られたものの高値圏での小幅推移で118.61レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3159レベルでオープン。英正午に英中銀政策発表を控える中でポンドは1.3211まで買われ1.3206レベルでNYに渡った。正午に英中銀は予想通り0.25%利上げとなったが、利上げ反対票が見られるなどややハパ的な印象もありポンドはその後反落に転じた。
ニューヨーク	海外市場では昨日のFOMCのドットチャートから、今年7回の利上げは既に市場で織り込み済みで、2024年は利上げがないとの予想からドル売りが強まり118.49まで下落し、118.61レベルでNYオープン。朝方は米2月住宅着工件数、並びに建設許可件数、フィラデルフィア連銀景況指数すべて予想を上回り、新規失業保険申請件数も予想を下回り、ドル円は118.81まで戻す。続いて発表された米2月鉱工業生産が予想と一致し118.84まで上昇した後は米金利が低下する動きや、ロシア債の利払いが米ドルで支払われたとのニュースを好感し、ドルが更に売られる展開に118.37まで下落する。午後は低下していた米金利が上昇する展開に118.67まで戻し、118.61レベルでクロスした。一方、ユーロドルは昨日のFOMC結果を受けたドル売りや、リスク回避の動きが後退していることから海外市場でじりじりと値を戻し、1.1052でNYオープン。朝方はワシントン・ポストが「年内に2回の利上げも排除せず」と話したこと、1.1066まで上昇する。その後は狭いレンジでの推移が暫く続くが、米金利が低下する中下値を切り上げ、一時1.1137まで戻す。午後は低下していた米金利が戻す展開にユーロドルは反落し、1.1093でクロスした。

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月17日	09:30	豪雇用者数変化	2月 77,400	37,000
	09:30	豪失業率	2月 4.0%	4.1%
	19:00	欧CPI(前年比/前月比)・確報	2月 5.9%/0.9%	5.8%/0.9%
	21:30	米住宅着工件数	2月 1,769K	1,700K
	21:30	米建設許可件数	2月 1,859K	1,850K
	21:30	米フィラデルフィア連銀景況	3月 27.4	14.5
	21:30	米新規失業保険申請件数	12-Mar 214K	220K
	22:15	米鉱工業生産(前月比)	2月 0.5%	0.5%

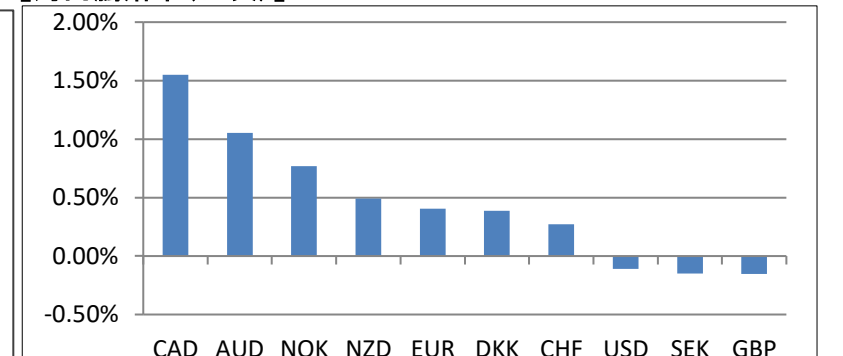
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月18日	08:30	日CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	2月 0.9%/0.5%/-1%	0.5%/0.2%/-1.1%
		日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	3月 -0.1%	-0.1%
		日黒田日銀総裁 記者会見	3月 -	-
	21:30	加小売売上高(前月比)	1月 2.4%	-1.8%
	23:00	米中古住宅販売件数	2月 6,100K	6,500K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	118.20-119.20	1.1000-1.1150	131.00-133.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は118.88でオープン。仲値にかけて119.02をつけるも、その後勢いは続かず。ドル円が約6年ぶりの水準となり、ドル売り需要が確認される中でじり安の展開となり118円台半ばまで軟化した。海外時間に入ると、米2月フィラデルフィア連銀景況指数などの経済指標が予想を上回り、ドル円が小反発する局面も見られたが、米金利の低下やロシア債の利払いが米ドルで支払われたとのヘッドラインを受けてドル売りが強まり118.37まで下落。その後、米金利上昇を受けて小幅に値を戻し、118.61でクローズ。本日は、日銀の金融政策決定会合の結果公表を控えている。会合並びに黒田総裁の記者会見で円安容認姿勢に変化がなければ、金融緩和継続の日本と金融引き締めを打ち出した米国では方向性の違いが鮮明となりそうで、日米金利差を意識した円安方向への圧力が強まる可能性が高いとみている。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:西